

新たな働き方“全国を旅するように働く”実証実験の結果を発表 ～東急とPeachが、より柔軟なワークスタイルの有効性を立証～

- ・ Peach社員が新たな働き方“全国を旅するように働く”というコンセプトを体現
- ・ 参加者の89%が、自らが選んだ環境で仕事ができることへの満足度を実感
- ・ 自由な移動で新たなアイデアの創出や行動のきっかけづくりを後押し
- ・ 場所にとらわれない新たなワークスタイルの確立へ向けて連携を強化

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:大橋一成)は、本日、東急株式会社(以下:東急、取締役社長:高橋和夫)が提供する、定額制回遊型宿泊サービス「TsugiTsugi(ツギツギ)」(以下TsugiTsugi)を活用し“全国を旅するように働く”という新たなワークスタイルの定着に向けた共同実証実験の結果を発表しました。



Peachは2022年12月、社員がより成果を発揮できる最適な場所で働き、継続したキャリア形成ができる環境づくりを目指して、フルリモート勤務制度を導入しました。また、2023年1月から3月までの約3カ月間に実施した共同実証実験*では、社内公募で申し込みをしたPeach社員に対し「TsugiTsugi」を提供することで働く場所にとらわれない多様なワークスタイルの実現を目指すとともに、その有効性を探ってきました。

実証実験の参加者へのインタビューおよびアンケートを行い、利用実績を検証した結果、全体の89%が自由な環境で仕事ができることを高く評価しており「業務の生産性が高まった」「アイデアの創発につながった」「働き方の有効性を実感できて満足した」と回答しました。

また、職場や自宅での勤務と比較すると、ホテルやリゾート地でのリモートワークは、地域の文化や課題実際に旅や移動をしているお客様を身近に感じ、いつもと異なる環境が仕事に対するモチベーションの向上さらには新たな気づきにつながったとの意見もありました。また、大多数の参加者が福利厚生として旅するような働き方をサポートしてもらうことで会社へのエンゲージメントが高まったと答えたことから、多様なワークスタイルの確立へ向けて効果的に働くだけでなく、将来的な人材の確保や採用強化なども期待されます。

今後もPeachは社員の多様な働き方へのニーズに寄り添い、自由な移動の促進を通じた交流人口や関係人口の拡大を目指します。また、本実証実験から得られた知見を活かし、東急との継続的な連携を深めながら、場所にとらわれない新たな働き方が可能な社会の実現に貢献してまいります。

***共同実証実験の概要**

期間:2023年1月9日～2023年3月31日

参加者:Peachおよび東急、日本経済新聞社の従業員 合計100名

内容:「TsugiTsugi」を利用して月に5泊の平日旅をしながら働く

調査方法:アンケート調査、面談

・「TsugiTsugi(ツギツギ)」の概要

「ただいま」と帰る場所をツギツギと巡る“旅するような暮らし方”をコンセプトに、東急株式会社が提供する定額制回遊型宿泊サービスです。全国に広がる 100 以上の施設から毎日好きな場所をその日の都合やその時々のお気分に合わせて選び、定額制で宿泊いただけます(2023年5月17日時点)。宿泊事業者の他に、交通事業者や観光地域づくり法人など 22 社・2 法人のアライアンスにて“自由な移動”や“自分らしさにフィットする多様な拠点”を提供し、自分らしい自由な暮らし方を実践する“次世代ライフスタイル”の定着を目指します。

・共同実証実験を開始した際のプレスリリース

<https://www.flypeach.com/application/files/1216/7963/5203/20221213-Press-Release-J.pdf>

東急について(<https://www.tokyu.co.jp/index.html>)

222 社 5 法人(2023 年 3 月末時点)で構成される東急グループの中核企業として、「美しい時代へ」というグループスローガンのもと、「まちづくり」を事業の根幹に置きつつ、長年にわたって、東急線沿線を中心としたお客さまの日々の生活に密着したさまざまな領域で事業を進めています。

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は 2012 年 3 月 1 日に日本初の LCC として運航を開始しました。現在、新千歳、仙台、成田、中部、関西、福岡、那覇の 7 カ所を拠点空港とし、国内線 28 路線、国際線 11 路線を運航しています。また、2023 年 8 月 1 日より大阪(関西)ー高雄線の運航を再開し、国際線ネットワークがさらに充実します。今後も Peach は、より気軽な空の移動手段として人々の往来を支え、地域活性化に貢献するとともに、お客さまに喜んでいただけるさらには愛していただけるエアラインを目指してまいります。